

第105号

酪農

とちぎ



2月13日～14日購買利用推進女性研修会より
講師：詩画家 大野克彦氏作品

「キャラクター^{えみ}笑味ちゃん」



みんなのよい食プロジェクト

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 平成 30 年乳代集計結果について
- 3～4 ページ 部課だより（指導企画課）
- 4 ページ 部課だより（購買企画課）
- 5 ページ 部課だより（生乳受託課）
- 6～8 ページ 東西南北（各支所）
- 9 ページ 名誉農業士、女性農業士認定者紹介
- 9～10 ページ 理事会だより、お知らせ、市場成績
- 11 ページ 酪農とちぎ機構図
- 12 ページ 「第 18 回酪農まつり」パンフレット



平成30年乳代集計結果について

1月から12月の乳代集計結果についてお知らせします。

生乳生産実績

平成30年の年間乳量は23万1863tの実績となりました(表

表1 年間乳量と出荷戸数

	年間乳量 (t)	12月出荷戸数 (戸)	1戸当り乳量(t/戸)
平成14年	213,002	738	289
平成15年	210,263	722	291
平成16年	213,341	705	303
平成17年	210,244	681	309
平成18年	220,457	653	338
平成19年	217,429	621	350
平成20年	216,870	593	366
平成21年	217,355	570	381
平成22年	206,590	546	378
平成23年	200,643	529	379
平成24年	210,197	521	403
平成25年	214,584	491	437
平成26年	221,612	476	466
平成27年	234,508	461	509
平成28年	237,879	441	539
平成29年	236,444	423	559
平成30年	231,863	409	567

1)。平成29年と比較すると98・

1%の実績です。前年に比べて減少した要因としては、夏場の記録的な暑さが挙げられます。夏の平均気温平年差は東日本で+1・7℃と1946年の統計開始以降で最も高くなったと気象庁の発表

表2 一頭当り乳量 (kg)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
那須高原支所	8,631.9	9,082.4	9,111.4	9,126.1	9,127.7
宇都宮支所	8,890.0	8,960.0	9,025.7	9,082.7	8,881.6
県南支所	8,296.2	8,457.3	8,659.8	8,675.5	8,526.0
平均	8,584.3	8,918.2	8,997.1	9,017.3	8,958.6
前年比		103.9%	100.9%	100.2%	99.3%

がありましたが、人・牛ともに大きな負担がかかったことで年間の出荷乳量が例年を下回ったものと推察されます。月ごとの日量の推移(図1)をみても、7月に入ってから大きく落ち込みがみられ、一頭あたり乳量(表2)についても、前年比99・3%となるなど、猛暑の影響は年末まで続く結果となりました。

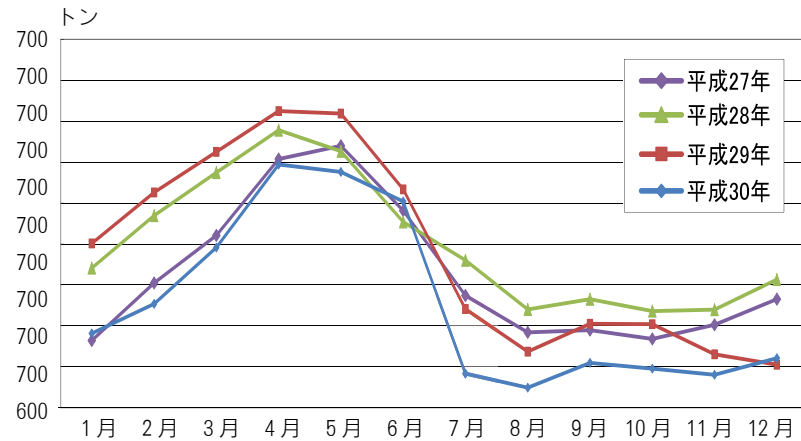


図1 日量の推移

乳価

支払い乳価(図2)は、11月を除いて前年を上回りました。乳代追加払い(需要期出荷奨励金、需要期優良奨励金、緊急酪農生産基盤強化対策金、乳代精算払い、集送乳業務委託費精算払い)におきましては総額3億3271万円お支払いし、年間乳量で除すると1・44円/kgお戻しすることができました。

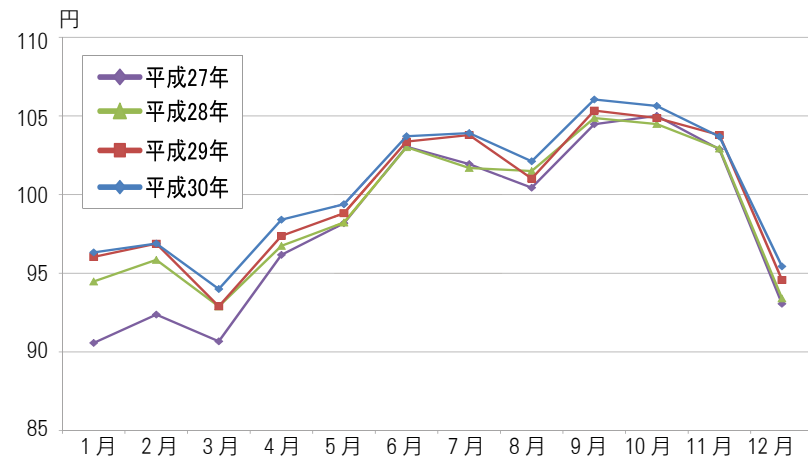


図2 支払乳価(手数料等控除後、乳質加算前)



部課だより

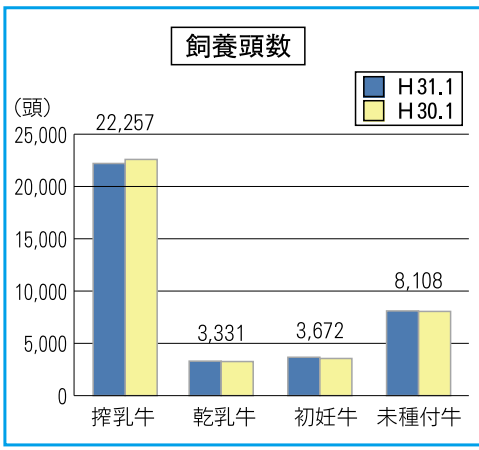
指導企画課

● 乳牛飼養動態調査

1月1日現在での乳牛飼養動態調査の結果がまとまりましたので、ご報告します。

1 出荷者戸数・飼養頭数について

前年1月と比較すると酪農中止は19戸（団体公共を除く）となり、出荷者数は前年同月比4.0%減の404戸となりました。廃業の理由は、高齢や後継者がいない10戸、経営不振1戸、病気療養その他8戸でありました。なお、酪農中止者19名の廃業時の合計飼養頭数は302頭でした。期間中新規出荷者2戸が組合に加入したため、出荷者数は差し引き17戸減となりました。



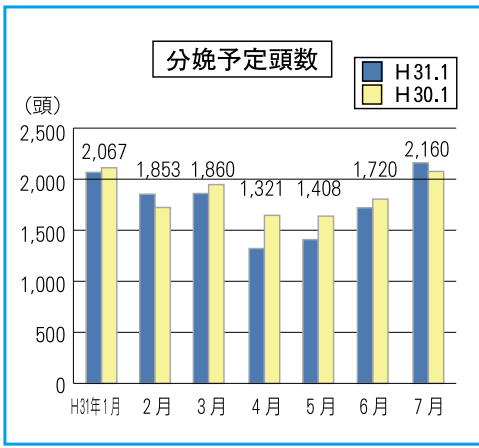
2 飼養頭数について

飼養頭数の内訳は、経産牛は前年1月比1.1%減少し2万5,568頭、自家育成牛は前年比1.6%増加し82,283頭、外部預託牛は前年比1.2%増の34,977頭でした。また、1戸あたりの平均飼養頭数は3.4頭増加し、92.4頭で前年に引き続き増加しています。

なお、搾乳牛は前年より1.5%減少し2万2,257頭、乾乳牛は1.6%増加し3,331頭でした。育成牛（自家・外部預託含む）の保有率は、0.55%増加し31.54%で合計1万1,780頭となりました。

3 分娩予定頭数について

本年7月までの分娩予定頭数は、前年同時期分娩実績に比べ5.8頭減少し1万2,389頭となっています。全体的に前年の分娩実績より少ない月が多く特に4月6月の分娩予定頭数の減少幅が顕著です。（平均減少率▲12.6%）



乳牛飼養動態調査表

(平成31年1月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数								1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛数	月別分娩予定頭数								
			経産牛			自家育成牛		外部預託牛		合計			育成牛保有率(%)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
			搾乳	乾乳	小計	初妊	未種付牛	初妊牛	未種付牛												
那須高原支所	H31.1	251	14,442	1,953	16,395	1,771	3,657	774	1,699	24,296	32.52	96.8	408	1,319 (163)	1,203 (159)	1,156 (156)	835 (119)	959 (115)	1,097 (98)	1,350 (154)	7,919 (964)
	H30.1	263	14,593	2,085	16,678	1,753	3,357	558	1,853	24,199	31.08	92.0	800	1,361	1,092	1,244	1,068	1,111	1,158	1,280	8,314
	増減	▲12	▲151	▲132	▲283	18	300	216	▲154	97	1.44	4.8	▲392	▲42	111	▲88	▲233	▲152	▲61	70	▲395
宇都宮支所	H31.1	71	2,846	434	3,280	444	1,012	176	366	5,278	37.86	74.3	91	281 (39)	230 (38)	249 (40)	184 (24)	165 (29)	214 (38)	297 (28)	1,620 (236)
	H30.1	74	2,893	441	3,334	427	1,020	119	451	5,351	37.69	72.3	39	257	228	229	181	177	209	269	1,550
	増減	▲3	▲47	▲7	▲54	17	▲8	57	▲85	▲73	0.16	2.0	52	24	2	20	3	▲12	5	28	70
南支所	H31.1	82	4,969	924	5,893	386	1,013	121	361	7,774	24.20	94.8	43	467 (26)	420 (28)	455 (41)	302 (27)	284 (21)	409 (37)	513 (24)	2,850 (204)
	H30.1	84	5,101	734	5,835	577	1,017	119	355	7,903	26.17	94.1	30	494	403	474	397	350	438	527	3,083
	増減	▲2	▲132	190	58	▲191	▲4	2	6	▲129	▲1.97	0.7	13	▲27	17	▲19	▲95	▲66	▲29	▲14	▲233
合計	H31.1	404	22,257	3,311	25,568	2,601	5,682	1,071	2,426	37,348	31.54	92.4	542	2,067 (228)	1,853 (225)	1,860 (237)	1,321 (170)	1,408 (165)	1,720 (173)	2,160 (206)	12,389 (1404)
	H30.1	421	22,587	3,260	25,847	2,757	5,394	796	2,659	37,453	30.99	89.0	869	2,112	1,723	1,947	1,646	1,638	1,805	2,076	12,947
	増減	▲17	▲330	51	▲279	▲156	288	275	▲233	▲105	0.55	3.5	▲327	▲45	130	▲87	▲325	▲230	▲85	84	▲558



最大は4月で▲19・7%増加月の平均増加率は5・6%で、最大は2月で7・5%増となりました。また、当該期間における導入予定頭数は前年より307頭増加し、1311頭となっています。

平成31年度上期の乳量動向は、経産牛頭数や分娩予定頭数は減少しているものの、それをカバーするように導入予定頭数が増加していることから、概ね横ばい程度で推移するものと思われます。ただし、4月・5月においては導入予定頭数より分娩予定頭数の減少が大きいため、春先に一時的な落ち込みが発生するのは避けられないものと思われれます。

4. その他

平成25年1月調査から、今回の調査までの全13回分の、畜種別種付け動向をまとめましたので、お示しします。

これまでの動態調査結果報告において報じた通り、43%台まで落ち込んだホルスタイン種の種付け割合は、北海道内の初妊牛価格が上昇を続けたことや、補助事業等による支援効果で近年回復基調にありました。今回の調査においても顕著に表れ、ホルスタイン種の種付け割合は47・1%となりました。今後の初妊牛相場も、天井が見えないような価格上昇基調となっており、自家産牛の確保が今以上に重要になってくると思われれます。補助事業等により補助を受けることができる性別別精液をうまく活用しながら、効率の良い後継牛生産が必要となってくるでしょう。

購買企画課

●平成30年度購買利用推進

女性研修会

去る2月13日から14日、ホテルエピナール那須に於いて、総勢160名の参加のもと、日ごろの感謝と推進を兼ねて購買利用推進女性研修会が開催されました。

今年で14年目になる事業で、昨年まで日帰りでの開催でしたが「ゆっくりと過ごしリフレッシュしたい。」と言う声もあり、3年ぶりの宿泊での開催となりました。

今回は、熊本県の阿蘇で詩画家家として活躍されている大野勝彦氏をお招きし「振り向けば母の愛が」という演題で講演会を開催いたしました。

45歳の時、農作業時の事故で両腕を失いました。家族からの懸命な励ましの言葉が生きる希望となり、絶望ともいえる体験を強い精神力で乗り越え、力強く前向きに進む姿を話されました。最後に義手による揮毫を披露し、心温まる詩を残されました。約一時間聴講



詩画家 大野勝彦氏による講演

し、前向きに頑張れるようになる、そして優しい気持ちになる講演となりました。

夜の懇親会では、組合長、各メーカー代表の方々からの挨拶に続き、副組合長の音頭による牛乳での乾杯で開宴となりました。

しばしのご歓談とお食事の後には、「メインイベント」(！) 皆様お楽しみみの抽選会です。当選した方の番号とお名前が呼ばれると、ご本人と近隣からは喜びと羨望の歓声が沸き起こり、会場がひときわ盛り上がりました。

今回は久しぶりの宿泊での開催となりましたが、多数の出席を頂き、そして沢山の笑顔の中、無事に開催出来ました事、心より御礼申し上げます。

また、購買事業につきましても皆様のご意見・ご要望にお応えできる様、一層努力して参りますので今後共よろしくお願い致します。



お楽しみ抽選会！



生乳受託課

平成31年2月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し101.6%（1万8069t）と12月度より3ヶ月連続前年を上回る状況です。各支所の受入乳量は、那須高原支所1万1816t（前年比101.6%）、宇都宮支所2312t（同101.6%）、県南支所3941t（同101.4%）となり、出荷者数は、前年同月より15戸減の404戸（内、学校は1校）でした。

2月度の組合平均乳質は、脂肪率3.93%（前年差▲0.02%）、無脂固形分率8.86%（同▲±0.00%）、体細胞数19.63万（同▲1.16万）と乳成分は前年並み、体細胞数は今年度初めて20万を下回る好成績となりました。

関東生乳販連の2月総受託乳量は8万3224t（前年比99.5%）となり、前年に近づきつつある中、20ヶ月連続で前年を下回る状況となりました。

用途別の販売数量は、生クリーム向け、チーズ向けを除きほぼ前年並みとなり、飲用牛乳向けは99.8%と好調を維持しております。

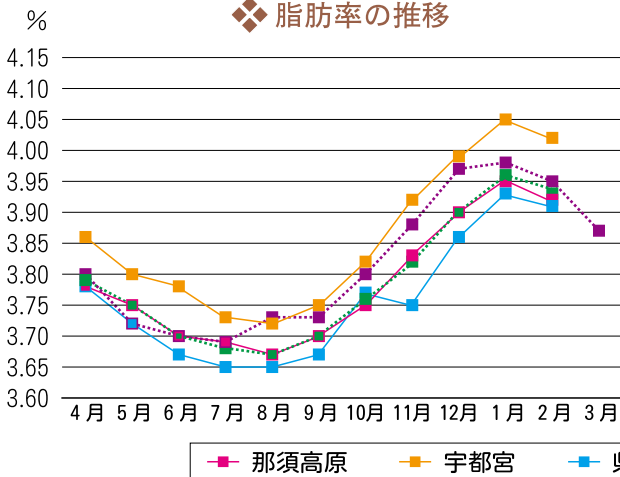
2月の全国の生産量は、北海道が前年比99.7%と自給飼料の影響や急激な冷え込み等の要因から2ヶ月連続し前年を下回り、都府県は99.3%と回復傾向の中41ヶ月連続前年を下回り、全国の生産量も99.5%と6ヶ月連続で前年を下回りました。

尚、平成31年2月の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりとなっております。

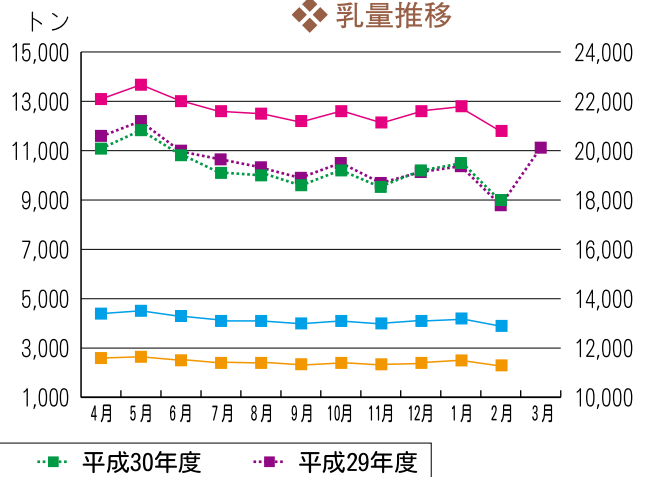
平成30年度 関東生乳販連用途別販売数量（単位：kg・%）

用途	2月期実績	前年同期実績	前年比	2月末実績(累計)	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	64,592,533	64,720,699	99.8	749,124,983	758,823,897	98.7
（うち学校向け）	11,460,894	11,762,701	97.4	109,937,918	112,586,001	97.6
はっ酵乳向け	11,028,657	11,014,362	100.1	135,751,420	140,516,766	96.6
特定乳製品向け	6,179,928	6,240,247	99.0	66,112,860	72,953,936	90.6
（うち委託加工向け）	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,364,927	1,586,298	86.0	15,409,128	16,861,370	91.4
チーズ向け	58,593	51,099	114.7	703,623	660,685	106.5
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	83,224,638	83,612,705	99.5	967,102,014	989,816,654	97.7
加工比率	7.43	7.46	-	6.84	7.37	-

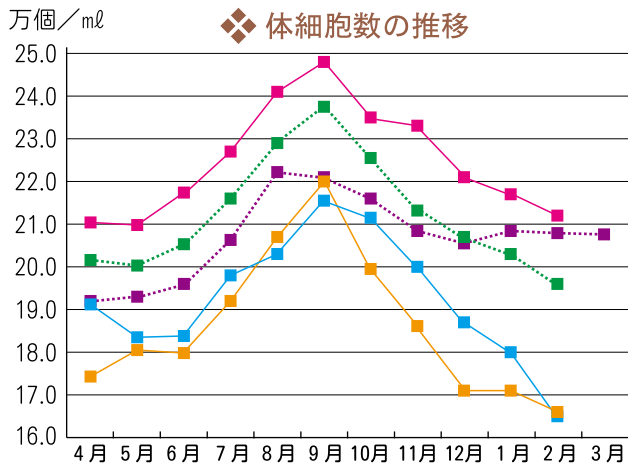
◆ 脂肪率の推移



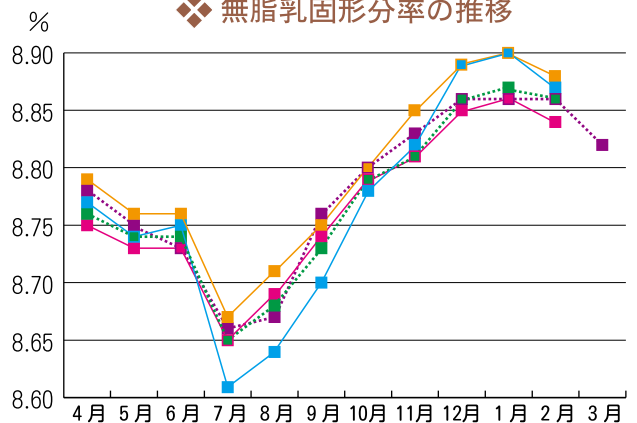
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



東西南北

那須高原支所

ボウリング大会124名参加！

2月6日、那須高原支所活動推進協議会（藤田一義会長）主催による第17回ボウリング大会が、黒磯ボウル（那須塩原市）及び王冠ボウル（大田原市）の2会場において開催されました。

当日は、組合員とその家族・従



大会風景 黒磯ボウルにて



表彰式後懇親会

業員などが参加し、ストライクやスペアなどを取ると握手やハイタッチなど、和やかな雰囲気の中で2ゲームが行われ、各会場・各レーンともに楽しいひと時を過ごすことが出来ました。
終了後は、榊原会館に会場を移し懇親会が行われ、臼井組合長より酪農情勢を含めた挨拶をいただきました。会場内では、近況等情報交換をしながら、おいしい食事をいただき、各テーブルから笑い声が絶えない懇親会となりました。

表彰式は、今年から団体賞を各ボウリング場ごとでなく一緒に順位付けし表彰しました。個人賞表彰は従来通り行われ、関係団体から協賛して頂いた沢山の賞品が入賞者に贈られて大盛況のうちに閉会となりました。参加された方は明日への活力に繋がる楽しい一日となったことと思います。
なお、各部の優勝は次の通りです。

団体の部 優勝 高林支部

準優勝 穴沢支部

第3位 大田原地域

個人の部

●黒磯ボウル

男性 高柳 智紀（くろいそ支部）

女性 斉藤日出子（青木支部）

●王冠ボウル

男性 石塚 聡（大田原地域）

女性 後藤 友子

（塩原・西那須野地域）

「青木チーズ作り研究会」

「チーズ作り講習会」開催

青木地区チーズ作り研究会（代表・人見孝允氏）では、1月28日



青木チーズ作り研究会



造ることを目的とし、酪農家が生乳生産だけでなく、各家庭の味となるチーズを作

に、様々な地域でチーズ作り教室を開催している片岡恵子氏を講師に招き、フレッシュタイプのチーズ作り講習会を行いました。
当会は、「家庭でもできるチーズ作り」をコンセプトに、家庭にある調理器具を用いてチーズを

れる機会があっても良いのではないかとという想いからはじまりました。

当日は、青木地区の酪農家・酪農家の奥さん方を中心に16名参加者が集い、講師の指導のもと、生乳の殺菌からストロングチーズやカチヨカバロといったフレッシュタイプのチーズの製造を行いました。講習会の途中に、熟成期間や製造方法も異なる数種の欧州産チーズの試食会も行われ、和気あいあいとした雰囲気の中、講習会が進められました。

出来上がったチーズを手にした参加者からは、「次回も参加してみたい」「家庭でも作ってみたい。」などの感想の声が上ががり、チーズ作りの魅力を体感されたようでした。



那須地域でつくられたチーズに舌鼓!

「那須のチーズを楽しむ会」開催

2月7日、Chus（チャウス）において、今年で4回目となる「那須のチーズを楽しむ会」が開催され、「家庭で楽しむ那須のチーズ料理」をテーマに料理研究家の白居芳美先生が招かれ、チーズ・牛乳を活かしたオリジナルレシピや料理が参加者に提供されました。

お皿の上に綺麗に並ぶチーズは、那須地域のチーズ工房、チーズ販売店、乳製品を製造販売している工房など7軒が集まり始まった「那須ナチュラルチーズ研究会」会員の方々が作られたものであり、参加者全員が、生産者と一緒になって美味しいチーズ、そしてチーズ料理に舌鼓を打ち、楽しんでおりました。



宇都宮支所

群馬県の遠坂牧場を視察

（青年部那須南支部）

2月21日～22日の1泊2日で青年部那須南支部（小口和則支部長）において、支部員7名参加のもと、群馬県の遠坂和仁牧場を視察して参りました。

遠坂牧場は常時約80頭を搾乳しており、経産牛1頭当たりは年間約1万kgを搾乳しています。遠坂氏の経営理念として、経営者と従



遠坂和仁牧場にて

業員の両者がゆとりのある、働きやすい牧場、を掲げており、従業員の休日確保のため、酪農ヘルパーや搾乳パートを利用しております。また、機械化による作業効率の向上を図っております。

参加した支部員が注目した施設は、哺乳のロボットと牛舎でした。哺乳ロボットは、遠坂牧場での事例を参考に、栃木県の牧場も多数導入したとのこと。哺乳牛舎については、ビニールハウスの簡易牛舎ですが、強度もあり安価で作成されています。

また、先進的な牛群改良により、体型の良い牛ばかりであることに驚きました。今回の視察を通し、支部員全員が見聞を広めることが出来たことと思います。視察を快諾して頂いた酪友の遠坂和仁氏には、厚く御礼申し上げます。

夜は、伊香保温泉に宿泊し、支部員間の懇親を深めることが出来、有意義な一泊研修会となりました。



いちご狩りとランチで親睦交流

(女性会那須南支部管内後継者の会)

女性後継者とお嫁さんを対象とした「後継者の会」が、3月2日に世話人の興野礼子支部長と5名の後継者、6名のお子様に参加のもと、親睦交流を深めました。

まず、那須烏山市内の観光いちご園でいちご狩りを楽しみました。

ビニールハウス内は甘い香りに包まれ、赤く沢山のいちごに魅了されました。「とちひめ」という



本年度第2回親睦交流～後継者の会～

品種で甘い果肉と柔らかさ、そしてジューシーでお子さんたちにも大好評でした。また、いちご狩り初体験の方もいましたが、自分で摘んだいちごを美味しくそうに味わっていました。

その後、市内の飲食店に移動して、食事を楽しまれました。後継者の皆さんは、本年度2回目の交流会でもあり、自然と会話が弾み楽しまれていました。

「食べて笑って」みんなで楽しいひと時を過ごされたことと思います。今後も、後継者の会は継続して開催し、交流を深めて参ります。



県南支所

全体交流会開催

3月26日、支所活動推進協議会(小池久夫会長)主催の全体交流会を県南支所において開催しました。組合員や家族・従業員及び各関係業者の方々等、総勢150名が親睦を深められました。天候にも恵まれ、参加者の準備協力も得ながら、無事開催する事が出来ました。

まず、松山副組合長から酪農情勢について報告を頂き、その後恒例のバーベキューとビンゴゲームで、大いに盛り上がりました。春休み期間中ということもあり、子供たちも大勢参加し、会場内は笑いと活気に満ちあふれていました。参加された皆さんは、明日への活力に繋がる有意義なひとときとなったことと思います。



おいしいひととき みんなでにっこり!



何が当たるかな…



名誉農業士・女性農業士 認定者紹介

平成30年度農業士・女性農業士
名誉農業士認定式が1月9日栃木
県公館で行われ、農業士15名、女
性農業士6名、名誉農業士18名が
新たに認定されました。

本組合からは、長年にわたり農
業の振興に尽力された次の3名の
方が認定を受けました。

名誉農業士

今 耕一さん(那須町)

(配偶者 今 克枝さん)

駒場 久さん(宇都宮市)

(配偶者 駒場 陽子さん)

女性農業士

海老原 治美さん(下野市)

(配偶者 海老原 哲夫さん)

今回認定された皆様には、心よ
りお祝い申し上げます。

又、農業社会における農村地域
発展の為に更なるご活躍をお祈り
申し上げます。



海老原さんご夫妻



駒場さんご夫妻



今さんご夫妻

理事会だより

12月度理事会(12月27日)

報告事項

- (一) 組合員の加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 年末手当について
- (五) 固定資産(ふれあい牧場隣接
土地)の取得について
- (六) 組合プール乳価について
- (七) 生乳生産管理チェックシート
記帳・記録について
- (八) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 11月度事業実績について
- (二) 固定資産(那須高原CS乳成
分測定器)の取得について

1月度理事会(1月31日)

報告事項

- (一) 組合員の加入・脱退について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について

- (四) 組合プール乳価について
- (五) 特別管理未収金の報告について
- (六) 東京電力原発事故農畜産物損
害賠償について
- (七) 乳牛飼養動態調査結果について
- (八) 子会社の第3四半期事業実績
について
- (九) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 12月度及び第3四半期事業実
績について
- (二) 平成30年度上半期決算監査報
告に対する回答(案)について
- (三) 規程の一部改正について
- (四) 第18回酪農まつりについて

2月度理事会(2月28日)

報告事項

- (一) 業務経過報告について
- (二) 組合資金貸付について
- (三) 組合プール乳価について
- (四) 役員報酬審議会答申について
- (五) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 1月度事業実績について
- (二) 2019(平成31)年度生乳
需給安定化対策方針について



- (三) 2019 (平成31) 年度生乳出荷奨励実施要領について
- (四) 2019 (平成31) 年度配合飼料・粗飼料及びTMR飼料供給量別利用奨励措置について

- (五) 第18回酪農まつりの開催場所変更について

- (六) 固定資産の取得について (追認)

お知らせ



《組合員資格確認のお願い》

組合員の皆様の組合員資格に變動が生じた場合は、定款第14条の定めるところにより、書面にて当組合にお届けいただくことになっております。組合員資格に變動があった場合は、お手数ですが当組合の管轄支所宛に組合員資格の變更をお申し出いただきますようお願いいたします。

※組合員資格の變動

- 組合員資格喪失、氏名・住所の變更等

- 正組合員から准組合員又は准組合員から正組合員に資格が變動した場合等

《第18回酪農まつり》

【とき】

平成31年4月6日(土)

悪天候の場合は4月7日(日)に順延

【ところ】

酪農とちぎふれあい牧場

(塩谷郡高根沢町下柏崎541)

※酪農まつり当日の組合業務

- CS業務・通常通り

- 本所及び各支所・休業

(CS職員以外全員出役の為)

《2020年4月新規採用職員募集》

【採用予定者】

2020年3月末大学・短大の

卒業見込み者 若干名

【願書受付期間】

2019年5月31日(金)まで

【採用試験日時】

一次 (筆記)

2019年6月上旬予定

二次 (面接)

2019年6月中旬予定

詳細については、当組合ホームページにてご確認ください。

《職員人事》

定年退職 (3月31日付)

経済部長

藤田 常美 (再雇用)

県南支所長

露久保芳広 (再雇用)

那須高原支所業務推進課総務係長

大垣 幸子 (再雇用)

退職者

宇都宮支所業務推進課

石森 輝之

業務部指導企画課

嶋村 海人

経済部生乳受託課那須高原CS

室井美恵子 (嘱託)

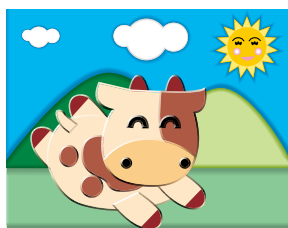
新規採用 (4月1日付)

添野 央矩

小林 来望

定期異動 (4月1日付)

「酪農とちぎ機構図」のとおり



2月度 ホクレン初妊牛市場成績 (単位:千円 (税込))

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	(そのうちET牛)		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
十勝	2月5日	695	538	77.4%	968	100	69	1,103
釧路	2月6日	324	238	73.5%	904	10	9	1,039
根室	2月7日	477	403	84.5%	938	35	30	1,087
豊富	2月14日	240	200	83.3%	968	10	8	1,084
北見	2月20日	356	327	91.9%	958	8	8	963
十勝	2月21日	645	555	86.0%	963	81	67	1,112
根室	2月28日	296	266	89.9%	966	25	22	1,082
合計		3,033	2,527	83.3%	952	269	213	1,067
前月		1,893	1,680	88.7%	937	195	173	1,051
前年同月		2,126	1,901	89.4%	985	158	144	1,137

初妊牛の今後の動向は7~8月分娩が中心となります。夏産みとなる腹の初妊牛が上場するようになると価格は軟調傾向をとるのが一般的です。過去3年(2015年~18年)においても同様で、4月~6月の市場成績は毎月2~3万円程度の価格低下が発生しています。また、前号で示したとおり豊富な資源状況を背景とし、上場頭数が増加傾向であることから、それらの複合的な影響により今後価格は数ヶ月間おおむね弱含みで推移するものと思われます。導入を希望される方は腹条件・分娩月によって手配に時間がかかることも予想されますので、十分余裕をもってのお申込みをよろしくお願い申し上げます。

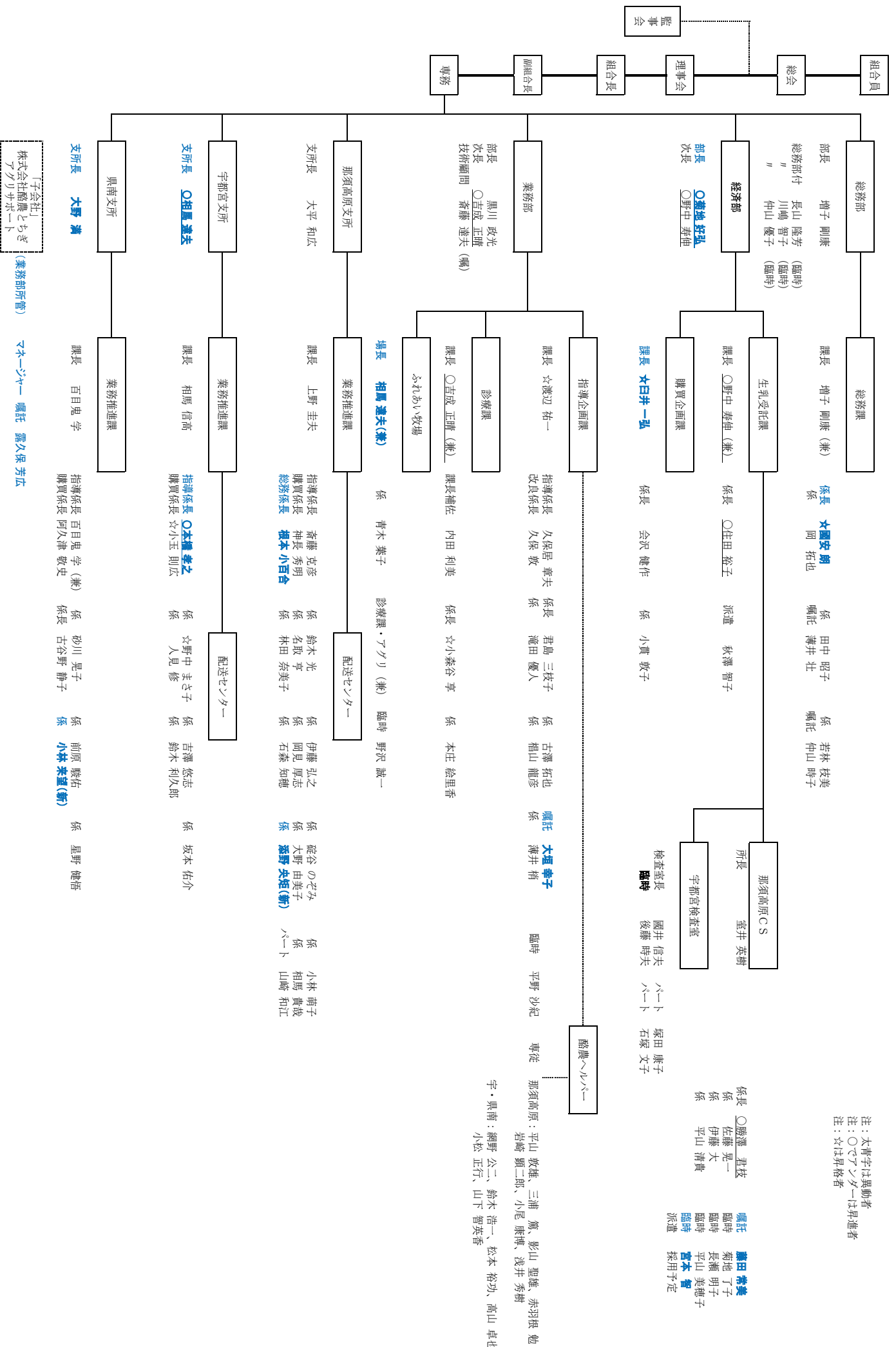
2月度 県内家畜市場成績 (単位:円 (税込))

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
那須	ホルス雄	94	66	173,880	2,480	109,325	▲20,053
	F1雄	56	63	397,440	140,400	300,549	5,333
	F1雌	50	60	315,360	131,760	237,103	3,075
館林	ホルス雄	1	95	0	0	131,760	34,560
	F1雄	3	99	369,360	306,720	331,200	▲8,760
	F1雌	5	98	301,320	220,320	271,080	42,390

今回の初生牛取引価格は前回から比較し、概ね横ばいで推移しています。那須市場では1月に年末から12千円程価格が低下しましたが、2月は持ち直し年末とほぼ同水準まで回復しています。例年夏に向かって相場は上昇傾向が続く事が多いため、今後もやや強含みで推移するものと思われます。館林市場では成立頭数が少なく回りに値動きを繰り返しながら、概ね横ばい~やや強含みで推移するものと思われます。



酪農とちぎ機構図(平成31年4月1日着任)



酪農とちぎ

第18回 酪農まつり

(第18回ホルスタイン共進会併催)

4/6 (土)

10:00~14:30

ホルスタイン共進会

牛の美人コンテスト

沢山のホルスタインが集まります

農機具の展示

トラクターなど大型農機具が展示されます

模擬店

焼肉、綿あめ、ポップコーンの無料配布

ハム製品、焼きそば、うどん、そば

いちご、ジェラートなども販売しています

ふれあい広場

バター作り、疑似搾乳体験、お菓子抽選会

落書きコーナー、完熟堆肥の無料配布

開催日 平成31年4月6日(土) ※悪天候の場合は翌7日(日)

場所 酪農とちぎ農業協同組合 ふれあい牧場

栃木県塩谷郡高根沢町大字下柏崎541

開催または中止について

当日朝 栃木放送 5:58、6:35、7:53の3回放送予定